



中部広域観光推進協議会

《中国ハイレベルミッション派遣事業》

～富山県知事を団長に北京・広州で観光説明会等を開催～

1 派遣期間

平成24年5月6日（日）から5月10日（木）まで（4泊5日）

2 訪問都市

北京市・天津市及び広州市

3 参加者

団長：富山県知事 石井 隆一

副団長：北陸信越運輸局長 最勝寺 潔

団員：中部運輸局次長 高橋俊晴をはじめ、中部（9県3市）地域内の自治体及び観光関係団体・観光事業者等【総勢47名】

4 事業実施報告

日中国交正常化40周年の節目にあたる本年は、日中友好の機運を高め、更なる観光交流の増加が期待されています。本年は、干支が辰年に当たることもあり、中部北陸9県の観光エリアを龍に見立て「昇龍道」と命名し、魅力的な観光資源が凝縮している中部北陸地域を強力にプロモーションを行っていくこととしており、この一環として、中国ハイレベルミッションを北京市、天津市、広州市に派遣し、中部北陸地域の魅力・特性を幅広くPRし、この地域への来訪促進の働き掛けを行いました。

ミッションには民間事業者を含め総勢47名が参加し、表敬訪問（ハイレベル班）、セールスコール（実務班）、商談会、観光説明会等を開催しました。

表敬訪問・セールスコールでは、航空会社・旅行会社等20箇所に対して中部北陸地域の魅力・昇龍道のPRを行いました。また、昇龍道については、「縁起の良い“龍”を使用したネーミングは良い・面白い、中国人の琴線に触れる素晴らしい企画だ」など多くの訪問箇所において好意的な受け止め方をしていただき、なかには積極的にこの昇龍道を使用して商品販売を進めていきたいという旅行会社もありました。

商談会では、多くの地元旅行会社（北京約30社、広州約20社）の参加を得て、各ブースとも活発な商談を行いました。また、観光説明会では旅行会社のほか旅遊局関係者・メディア等も加わり、北京では約90名、広州では約80名の方々にご参加いただき、現地ラジオ局パーソナリティーによる観光PR等を行い、会場は終始熱気に包まれていました。

なお、観光説明会に先立ち記者会見を設定し、地元の新聞社・出版社・テレビ局による団長・副団長への取材が行われ、多くのメディアにおいて中部北陸の観光魅力・昇龍道についての記事が掲載されました。

今後とも、招請事業などと連携させながら、更なる成果につながるよう取り組んで参ります。



表敬訪問(中国国際航空)



セールスコール(中青旅)



観光説明会(北京)



商談会(広州)